

2016. 9. 18

## ～海外安全情報（スポット情報）～

米国：ニューヨーク市における爆発事件等の発生に伴う注意喚起

### 【ポイント】

- ・ニューヨーク市の繁華街（チェルシー地区）で爆発が発生し、負傷者多数。
- ・繁華街、観光施設等不特定多数が集まる場所、公共交通機関、イベント会場、軍・警察・政府関係施設等を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察したら速やかにその場を離れるなど、安全確保に十分注意してください。

1 9月17日夜、ニューヨーク市マンハッタン区23丁目6番街と7番街の間（チェルシー地区）の路上においてゴミ箱が爆発し、消防当局の発表によれば、少なくとも29名が負傷しました。現在のところ、犯行声明等は確認されておらず、テロと断定される証拠は見つかっていないとされていますが、警察当局が捜査中です。また、同市周辺で、爆発物が新たに見つかったとの情報もあります。

ニューヨーク市では、9月13日から26日まで、国連総会が開催されており、世界中の注目が集まる同期間中を狙った可能性もあります。

2 また、同日午前には、ニュージャージー州シーサイドパークのマラソンレース会場にてパイプ爆弾が爆発する事件が発生しました。負傷者はありませんでしたが、同事件についても、警察当局が捜査中です。現在のところ、両事件の関係性も不明です。

3 皆様におかれましては、以上の状況を考慮し、テロ事件や不測の事態に巻き込まれることのないよう、報道や国土安全保障省のテロ関連情報サイト等に注意を払いつつ、最新の情報の入手に努めてください。

米国・国土安全保障省 テロ関連情報サイト：

<http://www.dhs.gov/national-terrorism-advisory-system>

また、テロの標的となりやすい場所（繁華街、観光施設等不特定多数が集まる場所、公共交通機関、イベント会場、軍・警察・政府関係施設等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察したら速やかにその場を離れるなど、安全確保に十分注意してください。

4 海外渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えてお

くようにしてください。3か月以上滞在する方は、緊急事態に備え必ず在留届を提出してください。

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html> )

また、3か月未満の旅行や出張などの際には、海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとれるよう、「たびレジ」に登録してください。

(詳細は <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#> 参照)

5 なお、テロ対策に関しては、以下も併せて御参照ください。

(1) パンフレット「海外へ進出する日本人・企業のための爆弾テロ対策 Q&A」

(2) パンフレット「海外旅行のテロ・誘拐対策」

(パンフレットは、<http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph.html> に掲載。)

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902, 2903

(外務省関連課室連絡先)

○外務省領事局邦人テロ対策室 (テロ・誘拐関連)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 3047

○外務省領事局海外邦人安全課 (テロ・誘拐関連を除く)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 5139

○外務省 海外安全ホームページ：

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mktop.asp> (携帯版)

(現地大使館等連絡先)

○在デトロイト総領事館

住所：400 Renaissance Center, Suite 1600, Detroit, Michigan 48243, U.S.A.

電話：(市外局番 313) 567-0120, 0179

国外からは (1-313) 567-0120, 0179

F A X：(市外局番 313)- 567-0274

国外からは(国番号 1)-313-567-0274